

第6回研究授業 記録（3年）

日時：9月10日（月）

記録者：嶋津

13:24 授業開始

T：お話覚えてますか？お話をもう一度読みますから、どんなお話だったかを黒板見ながら思い出してください。

（範読）

T：元に戻ってください。始めましょう。

始める前に守ってほしいことなんですか？

C：セーフティ

T：今日の問いなんですか。みんなでどうぞ

C：なぜ僕は自分でできるのに宿題をやってこなかったのか。

T：ノート見ていいですよ。

（ノート見る）

C：早く終わらせたかったから

C：実に教えてもらうと言うことで頭がいっぱい

C：宿題忘れてきたのは初めてだった

C：なんで宿題できるのにやらなかったのか

T：なんで

C：・・・

C：

C：遊びに夢中でやらなかったのもあるし、めんどくさかった。

C：テレビを見てたりしたから

C：Cくんと同じでどうしてやってこなかったのか

T：いろんなこと考えられるよね。だいたい何でか分からないって言う人もいるよね。

んじゃどうしてみのるさんに教えてもらおうと思ったんだろう？

C：大の仲良しだから

C：みのるさんは算数が得意だから

C：算数が得意だし、大親友だし、カーブの投げ方も教えたから。条件はそろってる

C：実は算数が得意

C：算数も得意だし、友達だから

C：友達だから教えてくれると思った

C：Cくんと一緒にカーブ教えたから、なんか教えると教えてもらえることがあって、それが頭に浮かんだ

C：カーブを教えてあげたから、Cくんも言ったけど、たまに教えてあげたからこれ教えてとかいう

T：でもどうでした？

C：教えてくれなかった

T：なんて言ったんだっけ。みんなと言って

C : (全員で読む)

T : ぼくどんな気持ち？

C : 怒ってる

T : みんな分かる？じゃああなたたちはどう感じる？怒った僕の気持ちが分かる？分からない？
(ネームカード貼る)

T : 分かるチームから聞こうかな。C くんどう。

C : カーブを教えたから、算数も教えてくれると思った

C : 誰だって普通は教えてって言われたら教える。それがなかったら友達じゃない

C : 少し分かるよりで、カーブ教えたし、大親友だから。でも大親友だからこそ悪口みたいなこと言っちゃう

C : 僕はたぶんもういいよっていったからちょっとだけ怒ってる

C : 教えるのはいいんだけど、大人になったときに分からなくなる。会社が違ったら教えられないから教えなかった

T : 怒っちゃったんだよ？

C : 言葉が通じてないから怒っちゃったんだと思う

T : 分からない人にもきこうかな

C : 3つなら分かると思うから、怒った僕が悪い

T : C ちゃんの言ってること分かった？教えてって言われてだめって言われて何でってことかな？
C さんずいぶん動いたね

C : 教えてって言ってだめって言われてるのに、怒るのって変じゃない？

C : 宿題をやってこなかったから。理由は家で・・・

C : みんなにしつもんしていい？C 君分かるって言ったけど、それで自分が答えを教えるのを先生が見たら怒られるんじゃないの？ぼくもみのるさんも怒られる。みんなどうですか？

C : 答えは教えない

C : 見られたら怒られると思います。大親友の人だけど、そういうことをしたらどっちも怒られる。だからみのるさんは怒られてもいいけど、僕が怒られたらかわいそうだから、断った。

C : ぼくが宿題を忘れてきたんだけど家で何してたんだろう

T : 今友達の話だよ。みんな実さん気持ち分かるよね。何で教えなかったの？

C : 仕事とかで困るから

C : こういうちょっとの問題でもやっとなないと、次の日出たらできるし、やってないとできなくなるから。

C : 大の仲良しっていうけど、それでけんかして友達をやめたっていうこと？だって知らんぷりしたから

T : 大親友なのに知らんぷりしちゃったんだろうね。でも誰のために答えを教えてあげなかったんだろう？

C : ぼくのこと

T : 心配してるんだよっていう気持ちだったんだ。じゃあ伝わらなかったんだけど、親友のことを思っ
て話してあげただけど、じゃあみんなが考える「みんなが友達のためにできることって何だろ

う」？みんなができることって何だろう。

C：C君がぞうきんふきを今日やってあげようかって言ってくれた。

C：クーパー貸してもらったことがある。CさんとかCさんとか。

C：俺も同じで教えない

C：消しゴムをCちゃんにかしてもらった

C：青鉛筆とかを貸してもらった。

C：今日水道の水をこぼしてあげたとき、ふいてあげた

T：みんなの言葉を書いてもらってたんだけど、もの貸してくれたらうれしいね～。たすかるね。でもないっていうのはどういうこと？

C：忘れたって言うこと

T：これが続いたらどうする？

C：どんどんなくなっちゃう

C：2，3回ならいいけど、何回も続くと自分の消しゴムが少なくなっちゃう

C：貸すのはいいけど、ずっと貸してると持ってこなくなる

C：ずっと貸してるとなくなっちゃう

C：借りてる人のお母さんのお金で買ってるから使いすぎは良くない。

T：友達のためになるっていうほうにするにはどうすればいいんだろう。絶対貸さないのか、ずっと貸すのか

C：一回ならいいけど、ずっとだと相手も何でってなる

C：たとえば相当困ってたら貸してあげるけど、あんまり困ってなかったら貸さなくてもいい

C：ずっとじゃなくて1，2回ならいい

C：2回くらいならいいけど、ずっと貸してるとまたってなる

C：友達が相当困ってたら貸してあげるしかない。ちょっと大変でも貸してあげる。忘れたのはしょうがないから貸してあげるしかない。

C：貸してあげないと遊ばないって言われて遊べなくなるかも。

T2：忘れてきた人が悪いと思うのに、貸さないって言われたから遊ばないって言うのは本当の友達って言えるのかな？

C：いけない。貸さないって言うだけで遊ばないのは違う

C：Cちゃんと似ていて、貸さないって言うだけでそういういじめみたいなことをするのはおかしい

C：いけない。なぜかという貸さないって言うのは友達に対してわるい

C。人が使ってるときに貸してって言うと、・・・それが結局遅くなって自分ができなくなるから・・・

C：いわない。なぜなら自分が持つてくのを忘れて自分が悪いから

C：いわない。なぜかという、貸さないって言われて遊ばないのは違う

C：自分が忘れたなら次持つてくると手に書いたり、ランドセルに貼ったりしないと遊びに行くと忘れちゃうからやったほうがいい

T：先生はみんなの話を聞いてやさしいな～って安心しました。

三つの意見を見て。「ものを貸してあげた」。これは考えなきゃいけない。もう一個。「代わりにやってくれたよ」これはどう？

C: いい。しょうがない

T: んじゃこれは? 「助けてあげた」「手伝ってあげたよ」

C: いい

T: 違うって言う人はいる?

C: 一回だけじゃだめだと思う

T: 一回じゃだめなの?

C: たとえば牛乳こぼれたときに助けるとか

C: Cくんとにいて一回じゃだめ。大変だったら助けてあげた方がいい。

T: 一回だけで終わるのもなんかね。今日初めて知ったこともあったんじゃないでしょうか。さいごにあすなるノートに書きます。今日書くことは今日分かったこと。「友達のためになるって言うこと」で分かったこと書きます。

(ノート記入)

T: もう言えますっていう人?

C: この p 4 c で友達のためになることをたくさん考えました。例えば、何かを貸すとか、かわってあげるとか、宿題のヒントを教えてあげるとかすればもっと仲良くなれると思った

C: みんなが困ってるときに手伝いたい。今日分かったことは、貸しても貸してもらってもお金がかかる

C: 友達を助けるのもいいけど消しゴムとか鉛筆とか6時間目まで貸しちゃうと家に持ってかれちゃうかもしれない

C: 答え・・・えんぴつとかけしごむはかしちゃだめ

C: ずっと貸すのはだめだと思う

C: 仲良しだからって毎回は貸してあげちゃだめだと思う。でも大変なときは貸してあげる。

C: 人から貸してもらうのはだめだから、自分でちゃんと持ってくる

C: 友達のためになら貸しちゃ・・・・・・。でも一日だけだったらいいと思った。

T: 3年生少ないよね。少ないから助けなきゃいけないときもあるけど、だめだよって言うときも必要だよね。